

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.1-22)

件名	試料採取設備の配管における詰まり	
事象の概要	(1) 発生場所・機器 分離建屋：試料採取設備 (2) 発生の状況 試料採取設備の運転中 (3) 概要 試料採取設備内の試料採取用配管の析出物による詰まりに伴う分析試料溶液の採取不能 * 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。	
事象による影響	(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 分離建屋の塔槽類廃ガス処理設備が稼働している試料採取設備内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。 (2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 試料採取用配管の詰まりによって、貯槽等の溶液の試料採取が困難となるが、復旧までの間、処理を一時的に停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。 (3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 試料採取用配管の詰まり除去の復旧作業に当たっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。 (4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない、または上流、下流の工程の運転に影響が生じる。 試料採取操作が一時的に停止するが、分析する試料によっては、他工程の運転に影響を生じないものもあれば、その上流、下流の工程の運転に影響を生じるものもある。	
対応の概要	(1) 試料採取用配管の詰まりであることを確認する。 (2) 試料採取用配管の詰まり除去作業は、定められた保守作業手順に従って、除染用配管から圧縮空気を供給する。 (3) それでも除去できない場合は、定められた保守作業手順に従って、除染用配管から硝酸等の除染液を流し、詰まりを除去する。	
公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転システムを切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 0以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響 日本原燃による評価: レベル0以下 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転時・保守時からの逸散等 多重防護の劣化

